

スリム内副管継手用エルボ UFMBL150N

施工要領書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
以下に、本製品の接着作業時における留意点を記載しておりますので、
施工にあたっては、よく読んでからお取り扱いください。

接着手順

接着剤の塗布やパイプ切断等の留意事項は、通常の塩ビ管の配管手順に準じますので、
切断面のバリ取りや接着面の清掃等、適切に行ってください。

- ① 専用立て管の端部より80mmの所に、油性ペン
などで標線を記入し、接続の目安とします。

(図1)

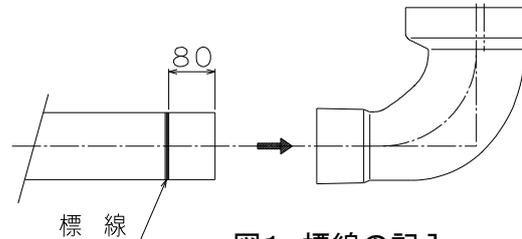


図1. 標線の記入

- ② 接着剤を塗布後、標線とエルボの端部が合うよう
に接続します。

手挿入の場合、標線がエルボ端部まで10mm程
到達しない場合がありますが、性能上問題ありま
せん。

(図2)

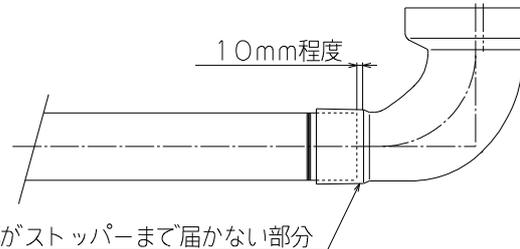


図2. 手挿入での接着作業の場合

【参考】

高い施工寸法精度が必要な場合は
挿入機を使用し、受口のストッパー部
まで差口の端部を確実に到達させて
ください。

(図3)

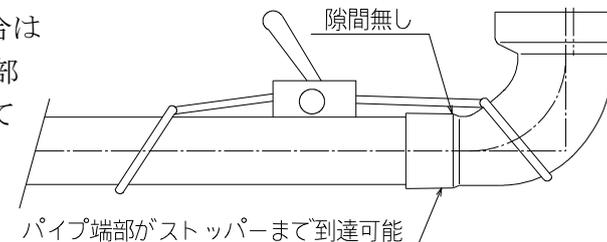


図3. 挿入機を使用した接着作業の場合

※その他施工についての留意事項は、スリム内副管(本体)付属の施工要領書をお読みください。